

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674800117
法人名	有限会社 ファースト・ケア
事業所名	グループホーム いこい
所在地	鹿児島県出水市高尾野町大久保1432-1 (電話) 0996-82-5537
自己評価作成日	平成28年2月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者のご家族様の意思を尊重して、協力の中で利用者様に対し良いケアができるように努力している。年に一回、家族会を開きご家族様の意見・要望などを聴ける場を設けている。その他に、常時面会などで来られて際も意見・要望など聴ける体制作りをしている。中庭には畑を作りとプランターを置き花や野菜を作り利用者様を触れ合う時間、季節を感じられる様な植物を育てて観賞できる時間を持ってもらえるように考えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成13年に開設された当ホームは1ユニットで運営されており、理念に沿い、少人数ならではのきめ細かなケアで職員は利用者との馴染みの深い関係を築いている。

建物内には系列のディサービスが併設されており、ドアで自由に往来が出来る造りになっている。災害時の協力体制や年間行事を合同で行うなど、利用者同士の交流も図られ、連携が取れている。

年間の行事計画は職員が各チームを組み、立案から実施までアイデアを出し合い、日帰り温泉旅行や季節の花見など、家族参加ももらいながら、多彩な内容で展開されている。恒例である地域ボランティアの食事会には利用者全員が出席し、地域との貴重な触れ合いの機会になっており、地域交流にも積極的に取り組んでいる。

職員は利用者個々の、生活の基盤である起床や食事の時間帯など、それまで慣れ親しんできた暮らしのリズムを大切にしており、急がずゆったりした本人本位の支援をしている。職員の見守りによる自由な環境で、食事に付随する手伝いや洗濯物たたみなど、利用者は、現状の持てる力をフルに発揮し生活の張りや生き甲斐を感じ取れる生活をしている。

少しずつではあるが、これまでの管理者や職員の地道な努力により、地域との交流も出来てきており、今後も地域に根ざし、試行錯誤の中で共に協働の関係が持てるように努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内・廊下等に掲示して職員の日々の気が付くように心がけを行うように努めている。	利用者の気持ちに寄り添い、その人らしい生活を支援できるように取り組んでいる。開設当初からの理念が受け継がれており、職員は掲示やミーティングを通し、振り返りを行いながら意志の統一を図ったケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	出水市内の看護学生の実習を受け入れや敬老会に地域の保育園児を招待し交流を図っている11月頃には、地域の交流パーティーへ全員で参加させて貰っている。	自治会加入は難しい現状であるが、地区の公民館長を通し、双方で情報の収集は出来ている。地域のボランティア活動やパーティーには利用者全員が出かけ、貴重な地域交流の機会になっている。学生のサマーボランティアの受け入れや地域の夏祭りの参加も積極的に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	看護学生・サマーボランティアの学生さんへ認知の理解を少しでも関心を持てる様に努力を続けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の自治会長・行政関係者・家族代表・当施設関係者に参加して貰い二ヶ月に一回開催している。	ヒヤリハットやホームの現状報告を中心に2カ月おきの定期開催である。地域との交流が課題であり、自主的に地域のゴミ拾いや交通整理の旗振り等にも取り組んだ経緯もある。出された意見やアイデアを反映しサービスに活かせるように努力している。今後は固定メンバーの見直しも視野に入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者に事業所の現状報告などしている	電話や窓口に出向いての、ホームの現状報告や相談などを行っている。良好な関係を築いており、研修案内も職員のスキルアップに繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の尊重を守る上で重要な事なので慎重に職員間で話し合いし報告、協力し実施している。	身体拘束については定期的な勉強会で職員全員が正しく理解できるように周知徹底している。転倒、滑落のリスクの高い利用者には家族の許可を得て、鈴やセンサーを使用している。日中は玄関の施錠はせず、利用者に付き添うなどし、職員間の見守りや連携で自由に生活している。新人職員もおおり、管理者は日々のケアに注意を払い、気付きは都度、注意を促している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を実施する計画をしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を実施する計画をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分な説明をした上で疑問な点などお気づきになられた際にお応えして不安のない契約を目指している。持ち帰って貰い何度でも質問などに誠意をもって対応します		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会、家族会などご家族様からの意見は真摯に受け止め職員間で共有し状況に応じて代表者へ報告している	面会や支払い時、運営推進会議の機会を利用し、意見や要望を聞いています。年1回の家族会では個人面談を行う事もあり、気軽に相談できる関係作りに努めている。意見、要望は全員で話し合い、サービス向上につながるよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員間の意見は、管理者より上司へ報告しミーティングなどで全スタッフへ報告している。その他は、申し送りノートなども活用している。	利用者毎の担当制を採り、居室整理から服薬管理まで役割分担を明確にし、プラン作成時に意見を反映させている。職員の要望で洗剤などの誤飲防止にリネン庫を設置するなど、改善策はすぐ実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上司・代表者が必要に応じ職場環境改善に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>地区内、県内のグループホーム協会に所属しているため研修があれば積極的に参加させている。その他に市からの研修にも同じく参加させてケア向上に繋がられる様にしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の研修などで交流しその他で連携を取っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>在宅からのご本人さんとは何度も足を運びお互いに良い絆を深めて家族と協力の上で安心させる環境でサービス利用を進めたい。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始する前にご家族が抱えている不安事などを真摯に受け止めて、ご家族の思いに添えるようにし信頼関係を築きたい</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービスするにあたり、本人様に合うケアをケアマネージャーよりアセスメント作成しご家族様の意見を聴き入れ必要に応じた対応に努めたい。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は介護させて貰っている立場意識を忘れずに共に時間を過ごしてほしい</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様・職員・ご本人の繋がりを密に持つことで環境作りから務めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前お知り合いの方、地域の方、親族の方々面会に来られた方との交流を取って貰えるように随時受け付けている。	以前の地域の自治会長や民生委員が様子を見に来る事もある。昔の職場の同僚が懐かしんで面会に来たり、生まれ育った家の付近をドライブすることもあり、これまでの馴染みの人や場所との関係継続を大切にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の会話が成り立つように職員が間に入り橋渡しを行っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様からの不安なども受け止めて対応できるように努力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人から聴かれる事、ご家族様からの意見など日々聞かれることを把握して努めている	殆どの利用者が思いを伝えられるが、難しい場合は一度、選択肢を設け、投げかけをすることで、表情や所作から引き出せるように努めている。職員で共有し、プランに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	できるだけ的生活環境が変わらないようにご家族様の理解と協力の上で本人様の暮らしを良い物へ行けるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らし方、状態など変化職員の情報を共有し記録に残して良いケアへ繋げたい。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回もしくは変化などの際にケアマネージャーに相談し3か月～6か月のモニタリングに良いケアにつなげられる様にしている	本人や家族の意向を踏まえ、担当職員の密な情報を職員全員で共有し、介護計画を作成している。状態変化の場合はその都度カンファレンスを開き、モニタリングは3ヶ月毎に実施し、常に現状に即した介護計画になる様に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子など少しでも気になる事があれば、職員間で共有して介護計画に生かせるようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様を支える為にも職員一同協力しどのような局面でも良いケアへ繋げられるために努める		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアパーティーに参加や敬老会にて子供たちにとの触れ合いで楽しんで貰えるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の意見、意向を聴き主治医の協力の下で今後も努力していきたい	これまで希望ののかかりつけ医を支援しているが、大半がホームの協力医療機関に切り替えている。状態に応じ、協力医療機関の往診や主治医とも密に連携をとれる体制を築いており、利用者の健康管理は適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員は常時ではなく、1名のみ在所している。緊急時、その他の相談事は重要視される存在である。今後も協力してケアへ努めたい</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者様が万が一入院になった際は、病院・看護担当者との随時連絡・連携が取れる様にしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化された時などは主治医を交えて話しをして、先ではあるがご家族様からのそうだんがある際は個別で不安のないように努める。</p>	<p>状態変化に応じ、家族には重度化や終末期に向けたホームの取り組みを説明している。延命処置などの意向書を取り交わし、看取りの経験もある。今後はホームの出来得る最大の支援や方針をわかり易く明文化し、早い段階から家族に説明し、理解を得られるように検討する方向である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティング、勉強会（消防署）をお呼びし訓練もしている。実践に活用したい</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災訓練は消防署に依頼して火災想定（日中想定）行っている。</p>	<p>併設のディサービスと合同の避難訓練を年2回実施している。運営推進会議を兼ね実施する事で、地区代表や家族も参加し気付きや講評を得ている。夜勤者の体制を考え、今後は夜間想定を重視し、安全管理の見直しを検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊重を守る上で重要な人格を尊重し損ねない言葉掛けや対応を行っている。スピーチロックについても勉強会を計画している	入浴や排泄時など、特に異性介助には配慮している。日常のケア全般を通し、利用者の尊厳やプライバシーを損ねることがない様な言葉使いや対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様に合わせた物事を自己決定して貰いそれに対しての職員の対応を心掛ける		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様にとってのその人らしさを常に考えお1人お一人にあった過ごし方を考えていく		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様が身だしなみをしっかりできる様に日々支援し、暑い・寒いなど季節・施設内の環境温度調節に合わせた身だしなみを支援を努めたい		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事が楽しめる様に、1日置きに職員が変わり食事を作っている。行事にはその季節に合わせた料理を作り、外出先ではお好きな物を選んで貰って楽しく過ごして貰えるよう努力している	その日の食材を使い、職員の力量で旬を感じる豊かな食事を提供している。季節ごとの行事食や誕生日の希望食など趣向を凝らしている。毎月の外食では、メニューを選ぶ楽しみも取り入れ、目先を変え食の工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の中には主治医より指示の下で水分摂取など行っており支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアはできる方にはして貰い、義歯などお持ちの方には介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄などは定期的に誘導、声掛けして習慣に近づけている。	夜間帯のみポータブルやパット使用で排泄のコントロールをしている。職員の適切な誘導で日中も布パンツの利用者が多く、家族の経費負担の軽減になっている。反介助や見守りで失敗を減らし、利用者の自信や尊厳の維持に繋がっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように水分、栄養摂取を心掛けている。申し送りなどで二日目になる方には日勤帯の者は把握して支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴に関しては、ゆっくりとした時間で事故がないように支援している。時には2人掛かりで行うこともある	同性介助を希望する利用者もおり、羞恥心に配慮している。職員との会話や入浴剤でリラックスした時間になる様に努め、入浴が負担にならないように工夫している。日帰りで温泉旅行を計画し家族と共に楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠・休眠ができるように日々支援し日中具合の悪い方には休んで貰うなど対応もしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必ず食事前、食事後に手渡し、口の中へ入れてあげ飲み込むまでを確認する。間違っ吐き出したり、飲み間違いがないようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で喜びが出る様にするために行事を取り入れるなどしている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の健康状態に合わせてご家族の方との外出は行かれてもよい。利用者様の希望が添えられるようにできるだけ支援は努めたい	ホームの敷地は広く、日常的な外気浴や散歩の場として活用している。買い物や近隣のドライブの他、職員がチームを組み、季節に応じた多彩な行事年間を組んでおり、家族の協力を得ながら、なるべくホームに閉じこもらない生活支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>行事など外出先などはお好きな物を買う際は職員が支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話など来た際は職員が橋渡しで支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様にあった環境設備を作るに渡ってご家族の意見やご本人の意見・意向を聴き職員と共に作り上げるようにしている</p>	<p>中庭を囲むように回廊式の造りになっている。ソファはマッサージ用など用途に合わせて、ゆっくりくつろげるよう配置されている。季節ごとの利用者の活動写真や作品が飾られ、利用者に日常生活の様子が伝わる工夫をしている。中庭に飼われた犬は利用者に懐いており、癒しの対象になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>いこいでは、主に食堂で過ごしている方が多く、歌を歌われる方、テレビを観賞する方、お話をする方日々職員が支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室を気持ちよく過ごして貰えるように日々努力している	<p>自宅で愛用していた馴染みの湯呑セットで家族とお茶を飲む利用者もいる。症状に依りシンプルにまとめられた居室もある。こだわりの品や、写真を飾るなどしており、個別性が感じ取れる空間で安心して暮らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	利用者様の安全な環境をつくる上で利用者様が生活しやすい環境がどのようなものかを日々職員で考えていく課題です		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない